

5 / 14

木内酒造・廣瀬商店・石岡酒造から 手指消毒に使用できる高濃度アルコール寄贈



1 木内酒造合資会社
木内敏行 副社長 (右)



2 合資会社廣瀬商店
廣瀬慶之助 専務 (右)



3 石岡酒造株式会社
広報担当 冷水貴子様 (右)

5月14日に木内酒造(資)、15日に(資)廣瀬商店および石岡酒造(株)から消毒用高濃度アルコールの寄贈がありました。3社は、手指用消毒液の不足を補うため、4月以降に高濃度アルコールの製造・販売を始めました(広報いしおか6月1日号参照)。木内酒造(資)から70%アルコール300mlを800本、(資)廣瀬商店から75%アルコール720mlを100本、石岡酒造(株)から70%アルコール300mlを60本寄贈いただき

きました。(資)廣瀬商店の廣瀬専務は「小中学校が再開し、保護者の皆さんに安心して学校に送り出してもらうためにも、教育現場で積極的に使ってほしい」と話しました。いただいた高濃度アルコールは、市内小中学校や薬局・施設等に順次配布しています。

5 / 22

NPO法人茨城教育ネットワーク・高校生・ 諏訪鶏園・日本ナショナル製罐(株)からマスク寄贈



1 (写真左から) NPO茨城教育ネットワーク成田浩一理事長・鈴木結さん(土浦日大)・佐々木汰陽さん(土浦日大)・矢口明奈さん(石岡二高)



2 諏訪鶏園 諏訪宏行代表(左)

3 日本ナショナル製罐(株) 島田浩行社長(右)



5月22日にNPO法人茨城教育ネットワーク(山崎)からサージカルマスク2,000枚と同団体を通して市内在住の高校生から手作りマスク64枚、25日に諏訪鶏園(山崎)からサージカルマスク2,000枚、N95マスク36枚および消毒液12本、29日に日本ナショナル製罐(株)(柏原)からマスク5,000枚の寄贈がありました。

マスクを作成した高校生は「人のためにすることが好きで、今回のマスクは母親と一緒に作った。子どもたちに色鮮やかな生地を使うことで、少しでも気分転換してもらえたら」と想いを話してくれました。

いただいたマスクは、必要な保育所や教育現場などに届けられます。

いただいたマスクは、必要な保育所や教育現場などに届けられます。

5 / 13

市内4か所で 家庭用除菌液を無料配布

※現在は配布終了しています。



新型コロナウイルス感染拡大に伴い、不足している家庭用除菌液（次亜塩素酸ナトリウム液を薄めたもの）を5月13日～24日に石岡運動公園など市内4か所で配布しました。配布件数は全部で3,532件。

除菌液をもらいに来た市内在住の佐藤さんは「手指用消毒液はある程度家に在庫を確保していたが、床や机を拭く用の除菌液は用意していなかった。子どもがいるので、ぜひ使わせてもらいたい」と話しました。

5 / 17

子ども食堂 初のドライブスルー方式で実施



市社会福祉協議会は、社会福祉法人擲会と共催で、初のドライブスルー方式で子ども食堂を実施しました。5月末まで小中学校が臨時休校になったことにより、17・24・31日の3日間、ふれあいの里石岡ひまわりの館の駐車場で開催。対象は、中学生以下の子どもがいる世帯で、カレー・焼きそば・赤飯各200食が用意されました。

受け取った子どもたちは車内から元気な声で「ありがとう！」と笑顔を向けていました。

5 / 25

広がり、つながる未来の輪 7月は社会を明るくする運動強調月間



この運動は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生への理解を深め、犯罪のない明るい社会を目指すものです。更生保護ボランティアを主体に市内の教育・青少年に関する各団体が共に手を携え、更生保護のネットワークを広げ取り組んでいます。

5月25日、市役所本庁舎にて、本運動に関する内閣総理大臣からのメッセージが石岡地区保護司会の海老澤正男会長(右)から谷島市長に手渡されました。立ち直りを支えるのは地域の力。皆様のご理解とご協力をお願いします。